

科目	特別支援教育概論	単位数	2
担当教員	田巻 義孝		
履修対象	健康科学科1年春学期		
目的	特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒(一部、通級による指導を受けている児童生徒を含む)の障害種別、定義、成因や主な症状、関連障害などについて、適切な教育対応や支援を講じる際に心得ておくべきことを中心に講述する。 なお、授業計画は、受講者の理解程度等を勘案して適宜変更することがある。		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 障害とは、われわれの誰かが負わなければならない“宿命”であることについて、理解することができる</p> <p>(2) 障害をもつ人々に対する偏見と無知・無理解をとり除き、受容と共感を築きあげて、教育対応や支援・療育にとって必要な心構えや態度を身につけることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) 善意の障害観や平等感は障害をとりまく現実についての認識を妨げる可能性があることなどについて、考えることができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) 障害をもつ子どもに対する望ましい教育対応に関して、その子どもの“障害”の性質や内容などに応じて教育関係者や医療関係者との協働が必要であることについて、理解を深めることができる。</p>		
授業計画			
1	障害者基本法(障害者の定義)、学校教育法(障害種別: 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱/身体虚弱)		
2	特別支援学校、特別支援学級、通級による指導		
3	特別支援教育と通常の教育の違い——特別の教育課程、認定障害者		
4	ノーマリゼーションと教育のダンピング、特別な教育ニーズ、教員のインクルージョンとノン・カテゴライズの特別支援教育		
5	障害の成因論① 常染色体優性遺伝病と突然変異		
6	障害の成因論② 常染色体劣性遺伝病と保因者		
7	障害の成因論③ 染色体異常症候群と染色体不分離		
8	障害の理解① 知的障害(精神遅滞: 程度分類の変更)		
9	障害の理解② 肢体不自由と脳性麻痺		
10	障害の理解③ 自閉性障害(高機能自閉症、アスペルガ障害)		
11	障害の理解④ 学習障害(才能のある学習障害)、発達性協調運動障害		
12	障害の理解⑤ 注意欠陥/多動性症候群		
13	5回～12回の授業内容の補足等		
14	障害と福祉① ノーマリゼーション、インテグレーション、リハビリテーション		
15	障害と福祉② 自立生活運動(必要な支援を受けることによる積極的な自立)		
授業形態	講義形式(必要に応じて、質疑・応答を含む)		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
発達障害ハンドブック	田巻義孝	文理閣	6,500円 (本体)
健康科学入門, 2訂版 ○健康と特別支援教育 ○特別支援教育を支える理念・原理	関西福祉科学大学健康科学科 分担執筆: 田巻義孝)	文理閣	1,900円 (本体)
参考書			
成績評価の基準・方法	学生としての自律(自主的な学習)を望みます。定期試験(受講態度を加える) 定期試験は、授業内容をどの程度理解しているかといったことに関して出題します。		
留意点	講義内容は多岐にわたるため、「発達障害ハンドブック」を用意した。		
準備学習	成績評価基準・方法に述べた(学生としての自律を望む)ことに尽きます。 —— 漫然と出席しているだけでは、授業内容を理解することはむずかしい。		

	問題意識や知的好奇心(例. 障害をもつ子どもに対する教育とは?)に基づいて、予習や復習、授業に関する]自主的な学習を望みます。		
備考	定期試験の評価については、オフィス・アワーでの照会によって個別に対応します。 ただし、定期試験から2年以上経過すれば応じることはできません。 授業中の疑問や不明なことなどは、遠慮せずに発言してください(奨励しています)。	No.	HS821001